

おまけ

以下は、卓本編とは関係ないけれど準備していた裏設定の一部です。よかったら見ていって下さい。Pardox Interactive 社「Hearts of Iron」シリーズの有名MOD「Kaiserreich」の影響を強く受けておりますが、これと異なる設定も多いです。

[チェルステ色の楽園] マリエッタ諸島	
総合国力	5
<p>長らく北西の島国の海外領土とされ、20年前の「大戦」の講和条約で独立を果たした小国です。かつては都市国家や騎士団、商人たちの国、それから異教徒の帝国と様々な大国によって支配を受けてきました。大戦においては当初北西の島国の海軍が駐留しますが、独立運動が蜂起して大帝国の強襲上陸に同調し、「マリエッタ海戦」の結果大帝国の占領下に入ります。北の大陸と南の大陸の海路を抑える「コーナーストーン」として主戦場となり、戦災で大きな被害を受ける一方で、飛行場や港湾施設が整備され、また飛行機の整備員を含む多数の職を現地にもたらしました。</p> <p>戦後、独立運動が発展してできた独立政府のもと、最初は漁業、それから航空機産業と観光産業が発展。20年の間に著しい経済成長を遂げ、高層ビルが建ち並ぶようにまでなりました。</p>	

[天馬の国] フサリア王国	
総合国力	30
<p>フサリア王国は、20年前に大戦の講和条約で復活した、北の大陸の古くて新しい王国です。</p> <p>数百年前は精強な「天馬騎士」で鳴らし、異教徒との戦争で勝ち続けて広大な版図を持っていましたが、その後東西の新興の帝国に押され、領土を分割されていったん消滅しました。</p> <p>転機は先の大戦。東の帝国が崩壊した際、戦後の新体制として王国の復活が認められます。ただ、旧王国時代から国王自由選挙を行っていたお国柄もあり、肝心の王様を誰にするかで紛糾。中央大帝と南の帝国の王家からそれぞれ継承権者が立てられ、当座の措置として主権は摂政会議に委ねられることになりました。</p> <p>それから20年。【国王不在の】フサリア王国は、東の共和国、南の帝国、西には中央大帝からそれぞれ影響を受けて、不安定な情勢が続いています。</p>	

[中央大帝] カイザーライヒ	
総合国力	200
<p>20年前の大戦で大きな犠牲を払いながらも勝利し、世界中に植民地を獲得した、新興の帝国です。北の大陸の中央に位置し、歴史的に封建諸侯や自由都市が緩やかに連帯した「神聖帝国」を形成していましたが、民族主義の高まりとともに統一運動がおこり、西の王国との戦争も経て統一国家として成立しました。</p> <p>その後鉄道の整備をはじめとする重工業化を進めたものの、ナショナリズムの要請から後発の帝国として海外植民地を欲し、「グレート・ゲーム」の中で東の帝国や西の王国と激しく対立することになります。そして26年前。同一民族ということで同盟していた南の帝国の国内少数民族問題（東の帝国と同民族）が、南の帝国の皇太子暗殺事件を引き起こします。折からの東の帝国の重工業化を見て、東西の大国との早期決戦を望んでいた軍部は、東の帝国の部分動員を理由として（皇帝許可の下）全面動員を発令。泥の沼に引きずり込まれるようにして、大戦が始まりました。</p> <p>それから先は誰もが知っている通り。大戦は大国と大国が国家の組織、経済、そして国民のすべてを動員する「総力戦」になり、人命が数値として挽き潰される凄惨な「塹壕戦」が数千万人の命を奪います。わずか数メートル塹壕を進むために、「機関銃」「戦車」「毒ガス」「バズーカ」「潜水艦」そして「飛行機」と新兵器が次々と開発・投入され、また各国は海上封鎖による飢餓に苦しむ中、世界中の植民地からも物資や人員を徴発していきます。</p> <p>戦力が拮抗し、互いに無為な攻撃で労働力人口をすり減らす中、最初に脱落したのは「東の帝国」でした。革命により生まれた「東の共和国」は、領土を大幅に割譲する屈辱的な講和条約を結び、「大帝」と和平します。これにより大帝は東側の戦力をすべて西の王国にぶつけられるようになります。</p> <p>そして、大戦期最大最悪の災害が人類を襲います。「インフルエンザ」の流行です。不衛生な塹壕に世界中の人間を集め、また食糧不足と疲労で免疫力が低下していた中、この流行病は例年の数十倍の広がりを見せ、世界中で数億人の命を奪うことになりました。</p> <p>「西の王国」は、この病魔によって前線に出せる人員がついに払底しました。「大帝」は、塹壕の水渠がしっかりしていて、そして「石鹼」が広く使われていたため、比較的少ない被害で済みました。この差が決定打となり、西の王国でも革命が発生、降伏に至ります。残された北西の島国にはもはやこの戦争を継続する気力はなく、足掛け6年に渡った大戦争は、ここに終結したのです。</p>	

ー 現実の歴史と異なり、【マリエッタ諸島】があるために大帝国の食料輸入が止まらず、それゆえに無制限潜水艦作戦が行われず西の大陸の参戦もなく、戦勝に繋がった。

[南の帝国] ヴィスライタニエン

総合国力

60

数百年前からある古い帝国で、多数の民族を抱えている一方統治機構の近代化が遅れており、衰退の一途を辿っています。

20年前の大戦では中央大帝国とともに戦い、敗北こそ免れたものの国力は大幅に弱体化。各地で起こる独立運動も抑えきれず、混乱が続いています。

[異教徒の帝国] ターキー帝国

総合国力

50

数百年前からある古い帝国で、多数の民族を束ねています。近代化の遅れから衰退著しいものの、先の大戦では戦勝国側となったことから、今なお砂漠を中心に広い版図を維持しています。慢性的な水不足に悩まされており、東部の水源地帯を抑えている少数民族とたびたび衝突しています。

[西の共和国] マルセイエーズ共和国

総合国力

100

労働者運動「インターナショナル」が実権を握る赤き大国です。20年前の大戦で多数の犠牲者を出し、最後には革命が起きて体制瓦解、和平しました。他国と比べて女性労働力の活用が広がっており、マリエッタ諸島以外で「空軍」があり、その女性士官がいる唯一の国でもあります。

[半島の連合王国] ダラゴナ連合王国

総合国力

80

マリエッタ西の半島南部と北の大陸西端の半島、それからその間の島々からなる海洋国家です。南北大陸に挟まれた海、その西部を抑えており、海運業が栄えています。また、内海の温暖な気候から、オレンジやオリーブといった作物でも有名です。先の大戦では開戦の翌年に西の帝国側で参戦し、2年で大帝国と講話して脱落しました。

[北西の島国] アルピオン共和国

総合国力

120

労働者運動「インターナショナル」が実権を握る赤き大国です。かつては世界中に植民地を持っていましたが、大戦の敗北でその多くを失い、さらには社会不安から労働者運動による革命が勃発、共和制に移行しました。

[西の大陸] 合州国

総合国力

320

豊富な資源と進んだ産業を持つ世界最大の大国です。石油などの資源を豊富に持ち、鉄鋼産業から自動車産業、航空機産業に至るまであらゆる工業が発達しており、また金融業も栄えています。20年前の大戦で東の帝国や西の共和国に行った借款が結局返済されず、信用不安の中で10年前に恐慌が発生し、今なお経済が沈滞しています。

[東の共和国] ムスコヴィ共和国

総合国力

120

20年前の大戦で敗北、革命が起こり帝政が崩壊した国です。その後、労働者運動「インターナショナル」が権力篡奪に動いたものの、中央大帝国の介入により穏健な共和主義者たちが勝利。しかし現在でも開放農奴たちの生活は改善されておらず、インターナショナルの影響力は強く残っています。